

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	商学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 前期課程、後期課程において安定的に一定の修了者を輩出する。	→学位の授与数。	A
2. 学会発表の包括的支援を拡充する。	→大学院生の学会発表回数。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

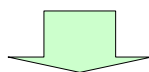
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.4.1	(現状説明) 入学者数が適確な増加傾向を示しつつ安定的に推移しており、その結果、安定的に一定の修了者を輩出することが可能となっている。
☆ 小項目6.4.2	(現状説明) とくに課程博士の授与について制度的充実が図られ、漸次増加の傾向にある。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.4.1	全学的に「海外研究助成金制度」が制定され、海外での調査研究、学会発表等への支援が行われることとなった。
☆ 小項目6.4.2	特になし。
その他	特になし。



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.4.1	「海外研究助成金制度」について学生にさらに周知を行う。
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
☆ その他 (自由記述)	2009年度末に目標を設定したところであり、この4か月弱の間になしうる改善はすべて行われている。また、この間に新たに改善すべき事項は発生していない。

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○6.4は主として課程修了時以降に測られる成果を問うものなので、修了者へのアンケート調査を実施するなどの対応が望まれます。

【学内委員】

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。

○小項目6.4.1における現状説明は、数字をあげての説明をお願いします。

○現状説明の小項目6.4.1においては、学位取得者の数以外の要素について、もう少し詳しく現状を説明してください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆ 「現状説明」6.4.1に以下のとおり追記「なお、前期課程の入学者は2008年度21名、2009年度26名、2010年度18名であり、修了者数もそれぞれの学年進行に応じたものとなっている。」また、「現状説明」6.4.1に以下のとおり追記「授与数は2008年度2名、2009年度2名、2010年度2名(9月授与)と連続して複数名に授与している、過去においては2～3年に1名程度の授与数であった。」

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.4.0.S1	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.4.0.S2	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.4.0.S3	「
6.4.0.S4	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.4.0.S5	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.4.0.S6	各年次セメスターごとの履修単位数制限の状況
6.4.0.S7	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.4.0.S8	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.4.0.S9	修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S10	KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S11	3年卒業の適用者数
6.4.0.S12	ジョイント・ディグリーの授与者数
6.4.0.S13	標準修業年限未満の修了者の数
6.4.0.S14	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率

<個別的な指標>
